

年度
来年度
市予算

暮らし守れ 市長に要望

福祉・医療・教育・産業・平和など、56項目の要求
市民病院建設、国保税引き下げ、循環バス路線増



共産党市議団は7日、山仲市長に対して、『2018年度野洲市予算に関する要望書』を提出しました。全体で56項目の要望で市民のみなさんから寄せられたものです。実現に向けてがんばります。以下、主なものをご紹介します。(文章は編集)

- ◆2019年10月からの消費税10%増税の中止を国に求めること。
- ◆原発の再稼働をやめることや、原発の廃止を国に求められること。
- ◆市民の命と健康を守る野洲市民病院の早期建設を図られること
- ◆特別養護老人ホームの整備やショートステイの増床を図ること
- ◆就学援助制度を生活保護基準の1.5倍に引き上げられること
- ◆中主小学校のグラウンドはデコボコや排水の整備をおこなわれること
- ◆大学生に対する給付奨学金を増額し、対象を高校生まで拡大されること
- ◆きわめて高い国民健康保険税を一人1万円の引き下げを行うこと
- ◆循環バスの路線増とタイヤの利便性など改善をされること
- ◆県道守山中主線の川田橋交差点の安全対策(信号機設置、川田橋欄干の切り下げ)を行なうこと。
- ◆JR篠原駅から野洲養護学校までの通学路を整備されること
- ◆市内中小業者支援へ、住宅リフォーム助成制度を実施されること
- ◆核兵器禁止条約に参加し、被爆国として役割を果たすよう国にもとめられること

提出した要望書は1月16日、市長と懇談し要望します

共産党市議団、市民の願いを意見書として提案 消費税10%増税中止・原発再稼働反対

定例市議会は22日までです。共産党市議団は、自公政権が進める来年度10月からの消費税10%増税中止と原発再稼働反対の意見書を提案します。意見書は22日の本会議で審議・採決されます。

森友学園と国側が 値引き「口裏合わせ」

共産党が国会で追及 音声データ 国が認める

国側の職員と森友学園関係者が、国有地の大幅値引きを正統化する“口裏合わせ”。それを裏付ける新たな音声データの存在を政府が認めました。11月28日の衆院予算委員会で日本共産党の宮本岳志議員が追及しました。

約9.5億円の国有地が、なぜゴミ撤去費用として8.2億円も大幅に値引きされたのか。宮本氏が示したのは、土地の買い取りをめぐる国側の職員と森友学園関係者が行った“口裏合わせ”が明らかに。昨年3～4月ごろのやり取りです。埋設ゴミが「9割」(国側の職員)まで存在する「ストーリー(筋書き。物語)」を、国が主導して仕立てあげていく状況が生々しく録音されています。

宮本氏が厳しく指摘すると、あれほど、「丁寧に説明する」と言っていたはずの安倍首相は答弁を拒否。財務省の局長は録音記録の存在は認めたものの「口裏合わせ」を否定。重大なのは不適切な取引が安倍首相の妻の昭恵氏が森友学園の名誉校長の時期と重なっていることです。宮本氏は、これだけの疑惑に対して、中心人物の昭恵氏の証人喚問は絶対必要と強く求めました。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2017年12月16日 №315

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
 東郷正明 比江864 (電話・FAX)589-4158
 工藤義明 小篠原879 (電話・FAX)588-1856

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索